

本学における 教学IR

質保証・IR室

2022年9月8日

■ 本学における教学IR組織の概要

本学においては質保証・IR室にて、教学IRに関する活動を実施している。

質保証・IR室は、大学の経営と教育の質保証及び円滑な大学運営を行うための情報を集約分析し、大学機能と財政・経営基盤の強化を図るための組織で、経営会議に置かれており、以下の(1)～(7)の業務を行っている。

- (1) 自己点検・評価の統括及び評価結果の検証に関すること。
- (2) 学内外の情報(教育・研究・財務情報等)の収集及び分析に関すること。
- (3) 各情報の分析結果に基づく大学運営上の戦略の策定に関すること。
- (4) 大学の広報戦略に関すること。
- (5) 財務情報を含めた情報公開に関すること。
- (6) 大学の将来構想策定に関すること。
- (7) その他、経営会議からの諮問事項に関すること。

質保証・IR室の位置づけと主な活動の流れの概略図を示す。

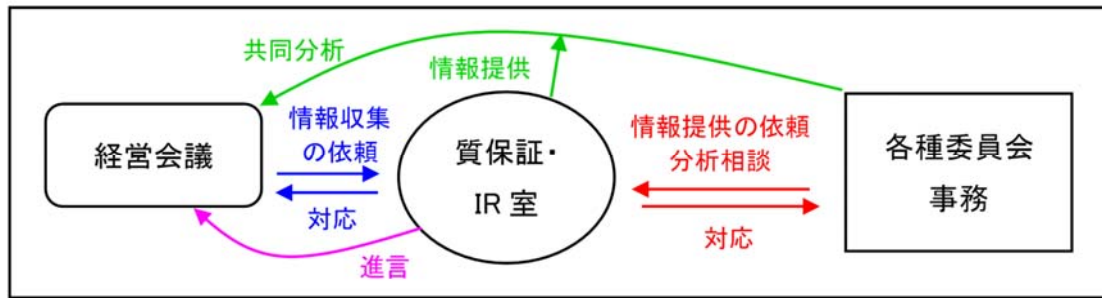


図. 質保証・IR室の位置づけと主要活動の概略図

教学IRにおいては、業務(2),(3)が主体となる。

また、質保証・IR室においてデータ収集・分析の実施も行うが、単科大学である特徴も活かし、各種委員会や事務(教務委員会、学生支援委員会、学部入学試験委員会など)といった学内組織とも共同し、データの収集・提供・分析・結果の検討を行うことで、教学改善へとつなげてもいる[図の緑色部分]。

質保証・IR室および他組織と共同で分析した内容に関しては、内部質保証推進責任組織である経営会議で改善に向けて諮られる。

■ 教学IRに関する活動内容例(予定・継続も含む)

(1)学修成果・教育成果の把握・可視化

＜教務委員会, ICT推進会議＞

- ・科目間の成績評価基準の平準化
- ・GPAの信頼性の確保の検討
- ・デジタル教科書導入による学修・教育成果の把握・評価

など

(2)入学選抜における情報[受験形態, 成績など]と入学後の情報[成績など]の関連性の検証

＜学部入学試験委員会, 教務委員会＞

- ・入学選抜における成績と入学後の成績, 入学選抜別による入学後の成績の推移など多角的に検討

など

■成果の一事例[継続中]

●科目間の成績評価基準の平準化(教務委員会との共同実施)

本学では成績評価の平準化および評価の改善のために、2021年度後期より、教員に科目の自己評価を行ってもらう際に、指標の1つとして「想定点(学生がとることが望ましい点数)」を設定した。

2021年度の後期科目におけるデータを用いて分析を行った結果、基礎科目と看護専門科目とで想定点の傾向に違いがみられ、看護専門科目の方が高めであった。看護職を育成する大学であるため、教員においては看護専門科目の理解度を重要視していることが伺える。しかし、半期における結果であるため、2022年度前期のデータも踏まえて検討を行っていく。

想定点	基礎	看護
70～74点	5	2
75～79点	2	8
80～84点	3	23
85～89点	2	0

(数値は科目数)

成績評価基準に関する今後の検討内容

- ・基礎科目と看護専門科目を共通の評価基準を設けるか。
- ・講義・演習・実習・グループワーク・レポートなど科目により評価方法も異なる。共通となる評価の視点もあれば、評価者の裁量による考え方による評価の視点もあるため、評価基準にある程度の幅をもたせた考え方はできないか。
- ・想定点の設定にあたっては現時点では共通基準を定めていないため、データの分析結果を通して、学内で共通認識となる基準の検討を行っていく。

2022年9月8日 質保証・IR室